

えき ばいてん  
駅の売店で

わたしは駅に着いて、電車に乗る前に電話をかけようと思い、財布を出しました。ところが、10円玉がありません。わたしは売店へ急いで行って、「すみません。テレホンカード、ありませんか」とたずねました。

「あるよ。いくらなの」

と店の人が言いました。わたしは思わず店の人の顔を見ました。そのひとは若い男性で、明るい感じの人でした。

「500円のがほしいんですが」

「ないよ。1000円のみだけだ」

「じゃ、1000円のをください」

店の人はわたしのほうにテレホンカードをだまっさし出しました。わたしは1000円札を出しながら、

「どうもありがとう」

と言おうとしましたが、何だか変な気がして、

「どうも」

と言って、テレホンカードを受け取りました。

また別の日、中年の女性が駅員に、

「あのう、ちょっとおたずねいたしますが、東京駅に行くには何番線の

でんしゃ の  
電車に乗ったらよろしいのでしょうか」

き み えきいん  
と聞いているのを見ました。駅員が

ばんせん  
「6番線」

こた じょせい  
と答えると、その女性は、

「ごていねいにどうもありがとうございます」

い なに  
と言って、おじぎをしました。わたしはいったい何がごていねいなのだろう

かんが  
か、と 考 えてしまいました。

ふつう し ひと はな とき たい つか  
普通、知らない人と話す時には、「～です」「～ます」のていねい体を使っ

けいご つか たい あいて ひと おな  
たり、敬語を使ったりします。それに対して、相手の人も同じようにていね

たい けいご こた ふつう みせ ひと きゃく はな とき みせ  
い体や敬語で答えるのが普通です。そして、店の人と 客 が話す時には、店

ひと きゃく つか おお  
の人のほうが 客 よりもていねいなことばを使うことが多いようです。

しかし、そうではない場合もあります。敬語を使って話しかけても普通体で

こた かえ とき あいて  
答えが返ってきたりします。そんな時、あなたなら、どうしますか。相手の

ひと あ か  
人に合わせてあなたもことばを変えますか。

わたしたちは、ふつうたい ともだちどうし かぞく なか した ひと あいだ つか  
普通体は友達同士や家族の中など親しい人たちの 間 で使

べんきょう みな えきいん みせ ひと はな とき  
うと、勉強しました。ですから、皆さんが駅員や店の人などと話す時には、

たい つか あいて ひと おな  
ていねい体を使ったほうがいいのです。いつも相手の人と同じレベルのこと

つか えきいん みせ  
ばを使わなければならない、ということはないのです。そして、駅員や店の

ひと ほんとう たい つか  
人も本当はていねい体を使うべきなのです。